

照 査 者	設 計 者

漏 水 修 理 等 に 伴 う 路 面 復 旧 工 事 設 計 書

工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	漏水修理等に伴う路面復旧工事		
工 事 場 所	鶴岡市青柳町地内他		
施 工 主		工事概要 工事概要 路面復旧工事 127箇所 763.09㎡	
設 計 区 分			
路 線 名			
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
部 課 名			
積 算 担 当	庄内広域水道企業団鶴岡事務所		
合 計 額			
工 事 価 格			
消 費 税 相 当 額			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費	舗装工事					週休2日 月単位	労務費 1.04 機械賃料 1.02	場所区分:一般交通影響有り(2)
		土木工事費		式	1			第 1号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費		式	1			
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

第 1号		土木工事費		1式当たり			内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	820.752				
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下						
舗装版破碎積込(小規模土工)	バックホウ 山積0.13m ³ 、舗装厚5cm以内	m ³	763.09				第 1号単価表
掘削	土砂、上記以外(小規模)、標準	m ³	41.514				
	土質:土砂 施工方法:上記以外(小規模) 施工数量:標準						
上層路盤(市N2)	粒度調整碎石 M-40、t=80mm、1層施工	m ²	484.14				
	材料:粒度調整碎石 M-40 全仕上り厚:t=80mm 施工区分:1層施工						
上層路盤(市N3、町道)	粒度調整碎石 M-40、t=130mm、1層施工	m ²	12.95				
	材料:粒度調整碎石 M-40 全仕上り厚:t=130mm 施工区分:1層施工						
上層路盤(県N4、N5)	粒度調整碎石 M-40、t=120mm、1層施工	m ²	2.98				
	材料:粒度調整碎石 M-40 全仕上り厚:t=120mm 施工区分:1層施工						
上層路盤(県歩道)	粒度調整碎石M-40、t=100mm、1層施工	m ²	10.43				
	全仕上り厚:t=100mm 施工区分:1層施工						

第 1号		土木工事費					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
上層路盤 (市歩道)	粒度調整碎石M-40、t=100mm、1層施工	m ²	2.76					
	全仕上り厚:t=100mm 施工区分:1層施工							
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³)、土砂(岩塊・玉)	m ³	41.514					
	土砂等発生現場:小規模 積込機種:規格:バックホウ山積0.13m ³ (平積0.1m ³) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)							
	DID区間の有無:有り 運搬距離:15.0km以下							
再利用土砂 (改良土)	コン指数≥800KN/m ²	m ³	41.514				庄内地区	
殻運搬	舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、有り、15.0km以下	m ³	32.589					
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り							
	運搬距離:15.0km以下							
アスファルト塊処分費		m ³	32.589				鶴岡建設	
不陸整正	無し	m ²	249.83					
	補足材料の有無:無し							
表層 (市道①)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	692.07				再生密粒度アスコソ13F、t=40mm、プライムコート	

第 1号		土木工事費					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン13F							
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3							
表層(市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	38.76				再生密粒度アスコン13F、t=30mm、タックコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン13F							
	瀝青材料種類:タックコート PK-4							
表層(市道②)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	38.76				再生密粒度アスコン13、t=40mm、プライムコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン13F							
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3							
表層(市歩道乗入)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	4.52				再生細粒度アスコン13、t=50mm、プライムコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生細粒度アスコン13							
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3							
表層(県歩道)	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	10.49				再生細粒度アスコン13、t=30mm、プライムコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生細粒度アスコン13							

第 1号		土木工事費					1式当たり	内訳書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3							
表層 (県歩道乗入)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	5.61				再生密粒度アスコン20F、t=50mm、フ ライムコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=50mm 材料:再生密粒度アスコン20F							
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3							
表層 (県道N4)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	11.64				再生密粒度アスコン13F、t=30mm、タックコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=30mm 材料:再生密粒度アスコン13F							
	瀝青材料種類:タックコート PK-4							
表層 (県道N4)	1. 4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m ²	11.64				再生密粒度アスコン13、t=40mm、フ ライムコート	
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:t=40mm 材料:再生密粒度アスコン13F							
	瀝青材料種類:フ ライムコート PK-3							
現場密度試験 (上層・下層)		式	5				第 1号明細書	
殻運搬 (濁水)	舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、有り、24.0km以下	m ³	0.769					
	殻発生作業:舗装版破碎 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り							

第 1号		土木工事費					1式当たり	内訳書					
名	称	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
		運搬距離:24.0km以下											
舗装版切断	濁水処理費			m3		0.769						R7年土木単価	
区画線工	ー溶解式(手動)	実線 15cm (ペイント厚1.5mm)		m		28.4							第 2号単価表
インターロッキング	ブロック設置工			m ²		0.51							第 3号単価表
交通誘導警備員	B			人		127							
	計												

漏水修理等に伴う路面復旧工事仕様書

受注者は下記の事項を遵守し、工事を施工すること。

1. 工事実施にあたっては、安全かつ円滑な交通を確保するため道路を良好な状態に保ちながら維持補修すること。(必要に応じ誘導員、交通整理員を配置すること。)
2. 現場代理人及び主任技術者等
 1. 受注者は、現場代理人、主任技術者（監理技術者）及び専門技術者（舗装技術者）を定め、現場代理人等指定通知書を発注者に通知しなければならない。また、これらの者を変更したときも、同様とする。なお、現場代理人、主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、これを兼ねることができるものとする。
 2. 主任技術者（監理技術者）は、土木施工管理技士など建設業法の定める資格を有すること。
 3. 専門技術者（舗装技術者）は1級又は2級の舗装施工管理技術者資格を有すること。
 4. 通知にあたっては、各資格を有することが分かる証書等の写し及び受注者との雇用関係が確認出来る書類（健康保険被保険者証等の写し）を添付すること。
3. 工事区間内で事故防止のため、やむを得ず臨機の処置を行う必要がある場合は、速やかに監督職員に報告・協議すること。
4. 工事時期は、交通量を考慮し、雨の日、気温が低い日をなるべく避けて作業すること。
5. 舗装合材の種類、影響範囲、舗装厚、施工方法については、道路管理者の指示による。
6. 舗装版剥ぎ取り後の上層、下層路盤はタンパ等で十分締め固めを行うこと。
7. 瀝青材散布は一般通行車、各所構造物に飛散させないよう所定の量を均一に散布すること。
8. アスファルト合材は敷きならし後、加熱しながら振動ローラー、タンパで十分締め固めを行うこと。
9. 特に継ぎ目部分は加熱しながら、コテ、タンパで十分締め固め密着させ、平坦に仕上げること。
10. 亀裂が多い場合は、その部分を切り取って隣接部を施工すること。
11. アスファルト合材の舗装表面が十分冷え切ってから隣接部を施工すること。(約 50℃以下)
12. 道路使用許可書・通行制限書は請負者で申請のうえ、許可後に工事を施工すること。
13. 工事写真は工事現場毎1部提出すること。
14. 施工する箇所を確認し、周辺住民及び店舗等に施工日、施工方法を事前に周知すること。
15. 県道舗装版切断カッター作業は、作業当日に行うこと。また、舗装版切断時の濁水は、カッターの濁水回収機構やスポンジ等で回収し、周辺への流出を防ぐこと。
16. 本工事により発生する建設発生土は15km以内の運搬を想定しており、運搬・処理については受注者の責任において適正に行わなければならない。
建設発生土受入地については、土砂運搬工着手までに発注者が決定する。設計計上した運搬距離と差異が生じた場合は変更協議の対象とする。
17. 週休2日確保工事

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては「山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領」に基づくため、詳細については、別添実施要領を確認すること。なお、実施要領中の「山形県県土整備部及び各総合支庁建設部」を「庄内広域水道企業団」に読み替えるものとする。
2. 発注者は、当初（発注）時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所状況が異なる場合は変更（精算）時に補正係数を変更するものとする。
3. 受注者は、工事名標示板に月単位の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。

18. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

- (1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。
- (2) 休前日（金曜日など）に休日明け日（月曜日など）が期限日の依頼をしない。
- (3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

3. ワンデーレスポンスの再徹底

- (1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

4. 留意事項

- (1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限を確認し、合意を図る。
- (2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

工事完成後に提出する書類

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・完成通知書・出来形数量計算書（発注者の指定する様式）・着工前写真・下層路盤転圧状況写真・上層路盤転圧状況写真（影響範囲及び仕上げ厚が確認できるもの）・瀝青材散布状況写真・アスファルト合材締め固め状況写真・完成写真・交通誘導員配置状況写真 |
|---|